

## ●主な活動の記録 (7月～9月)

7月8日(金) 環境出前講座 月ヶ瀬放課後子ども教室

”森の恵みを楽しむクラフト体験”講座を同教室で小学生 30 名、先生 4 名の参加で開講。当クラブ員 2 名が指導に当たった。まず”森の働き”について児童に問いかけ、答えに補足説明を入れたりして一緒に考えさせてからクラフト体験に入った。作業を効率よく行う方法、注意事項を説明し、モクマルくん(リョウブの木の輪切りしたものに目・鼻・耳をつけ人や動物の顔をつくる)とモックン(桜の小枝に顔・口の切れ込みを入れ、目を付け、ヒートンとリリアン糸でペンダント風に仕上げる)づくりを行った。見本にとらわれず自分のアイデアを取り入れる者が多く、夏なのに”雪だるま”のペンダントを作ったのには驚いた。低学年も熱心に取り組んでいた。短時間ながら先生方が随分手助けをして下さり効率よく進められたことに感謝。

7月9日(土) 定例活動 矢田山遊びの森

前日から降り続く雨の為、本日の参加者は 8 名に留まった。まず”山と川の月間”にちなんで、7月18日(祝)に県主催で吐山野外活動センターで開催のイベントにクラフトづくりで参加するにあたっての参加人員確認と要領の打合せ。次いでカブトムシの幼虫の養生箱 5 箱を成虫にかえった際逃げださないように網をかぶせ、上からしっかりと紐がけをし、しばらく小屋内に置いておいたため乾燥の懸念があり、雨が降る中に置いておいた。あとクラフト材料づくりや、道具の手入れを作業は午前中で終了し解散。・助成金申請中の「緑の募金」公募事業、20周年記念事業”永遠の森”づくりと、「緑と水のファン」

”FV 連リーダー研修”の助成決定を受けての打合せ

- ・今年度活動に当たって、県への”行政財産使用許可願”と”活動届”の提出報告
  - ・故日月氏一周忌にお参りした辰巳、平武理事よりの報告並びに預かった寄付の扱いを協議
- その他、講習会等の案内の扱いにつき話し合った。



カブトムシの幼虫養生箱



草刈り器刃の目立て

7月18日(月) 山もり・てんこ森 県青少年野外活動センター

海の日、県は上記イベントを吐山町の同センターで開催。これに協賛する当クラブでは恒例となった木工クラフトとして、竹笛・ジージーゼミづくりをクラブ員 13 名が指導にあたった。この日は新調なった揃いのユニフォームを着用しての初めての出勤となった。朝から好天に恵まれ、一般参加者の出足は上々。開始時間前から受付や人数制限のある体験コーナーには早くから列を作って待っている親子づれが多くみられた。我がコーナーにも、開始から順次親子づれやボーイスカウト達が順次訪れ、大忙しの対応

が一日中続いた。今回は材料を十分に用意したため、途中で打ち切ることもなく、終了時刻の3時になっても来てくれ、大わらわの対応となった。参加者はおそらく250組以上。時間を過ぎても来てくれた数組には残念ながら、又来年と言って引き取ってもらった。

当日のイベント参加者総数は受付ベースで約950人とのこと。



受付の列



製作風景



揃いのユニフォームで



7月23日(土) ”竹伐り体験とクラフト—親子で思い出づくり” 矢田山遊びの森

県「山と川の月間」協賛イベントとして一般の親子づれを募って開催。学校が休みに入って初めての週末でもあるためか、8組28名の多くの参加を得た。まず、理事長よりイベントの趣旨並びに行事内容の説明の後、午前中の竹伐り体験のため、各自ヘルメットを被り、ノコギリを腰に着け作業地であるR308沿いの人工林に入る。一家族にクラブ員1~2名がつき、ノコギリの使い方や竹の倒し方の説明を聞いて竹を伐り倒しにかかった。竹は直径10cmを超えるしっかりしたものが多く、木の枝にかかるものもあり、周りの人に注意の声を掛け引き倒し、玉切り、枝払いをし、棚積みした。

午後、子ども交流館で木工クラフト。予め準備しておいた木の輪切りや竹の小口切りしたものを使ってのモックン・モクマルクン・ガリガリトンボ・竹笛・ジージーゼミ等盛沢山の見本を示しながら作り方を説明後、子ども達は一斉に材料を物色し、思い思いの作品作りに入った。ほとんどが3~4個仕上げ、予定の時刻となり終了。

終礼時、本イベントに参加しての子供達の感想はと問いかけると、皆大いに楽しめたと一斉に拍手を返してくれた。主催者側としては非常に嬉しい限り。最後に、我々が幼虫から育てたカブトムシのつがい2対の入ったペットボトルを一家族一個をお土産として手渡し嬉しそうに持ち帰った。



竹伐り体験



作業を終えて



クラフト風景

8月3日(水) 環境出前講座 富雄第三バンビーホーム

「森の恵みを楽しむクラフト体験」講座を同校学童保育所で開講。クラブ員6名が指導にあたった。この日の参加者は児童52名(1~6年生)と先生6名。当クラブの活動紹介の後、森林環境教育として森林や木の役割を考えさせる問題をクイズ形式で10問出題。Yes/Noを手を上げて答えさせた。地球温暖化防止の役割はさすが皆学んでいたようでほぼ全員が正解。全問正解の一名には皆で拍手。続いてクラフト。二年前に一度やったので、内容を変えるべく、今回はガリガリトンボと竹笛づくり。ガリガリトンボは胴体である割り箸を強くこすると先についた羽根(プロペラ)が廻りだすものだが、抵抗を強める為、低学年は細い針金を均等に巻きつけ、高学年はヤスリで切り込みを入れるもの。児童を学年別に6グループに分

け、クラブ員と先生がそれぞれ一名づつついて指導しながら作らせた。ただ低学年は針金の巻き付けにやや苦戦。今回が大人数で一斉に作らせるのは初めてで次回のためにやり方を要研究。後の竹笛づくりはクラブ員も慣れていることもあり比較的スムーズに進み昼過ぎに終了。



森林クイズ



製作風景



8月8日(月) 広報活動 FMならラジオ

トーク番組「エコネットなら」(パーソナリティー岡本胤継氏)に担当理事岡本が、生放送で出演。活動内容の紹介や来春予定の20周年記念植樹祭への参加を呼び掛けた。

8月11日(木) 森の学校 二上山ふるさと公園

この日が初めてとなる山の日の祝日、「山と川の月間」協賛イベントとして、県中部農林振興事務所が同公園で開校。当クラブ員4名がクラフト・自然観察の指導者として参加。懸念された暑さもまずまずにて、開始10時前からまっている親子連れも含め出足は好調。参加者は受付で森林クイズの用紙を受け取り、子供達は用意された各種パネルを見ながら問題を解き、採点してもらってクラフトづくりに取り組んだ。ジージーゼミ・竹笛・モクマルクン・モックン各種順に作っていった。この間午前・午後一回ずつ希望者を募って、山頂までの道で自然観察。午前中奈良テレビの取材があり、同日夕方のニュース番組で一端が紹介された。この日の参加者は100名強。



クイズに挑戦



クラフトづくり風景



自然観察

8月13日(土) 自然観察と竹・木のクラフト 矢田山遊びの森

「山と川の月間」協賛イベントとして、先月に続き開催。6家族18名の親子連れが参加。午前中自然観察。まず矢田丘陵全面に広がるあたかも紅葉しているかに見えるナラ枯れの原因と現状についての説明の後、観察路Aコースへ。クラブ員でもある森林インストラクター木々の説明を聞きながら一時間強をかけて散策。途中メダカ池では、今では希少種となったメダカ二匹がゆっくりと泳いでいるのを見ながら一休み。コースの最後で森林の役割についての話を聞いて、子ども交流館に戻る。この日クラブ員16名の参加者ほとんどが同行。

昼食後のクラフトでは、各家族単位でグループになり、それにクラブ員数名ずつが指導についた。まずガリガリトンボ作り。割箸に幾つかの切込みを入れ、他の一本でこすると先に付けた羽根が廻りだすものだが、切込みの入れ方で中々回らず、苦戦している者が結構いた。次いで、木の輪切りを組合せてのモクマルクンや木の小枝でのモックン、そして竹の輪切りでデンデンムシ等を作った。二つ繋ぎあわせ眼鏡。こ

れは今まで見なかった発想。最後に予め作っておいた竹笛をそれぞれ一つずつ貰って解散。

#### 定例理事会

##### ・各種報告

環境出前講座（8月3日、富雄第三バンビーホーム）、森の学校（8月11日、二上山ふるさと公園）

いずれもクラフト指導の実施

県より環境庁表彰団体に推薦するとのことで関係書類を提出

ならドット FM 番組出演内容

9月のクラフト指導予定（鳥見小 9月1日、柳生 9月17日）

今年度活動予定地に対する行政財産使用許可の取得

##### ・森林環境教育（森林環境税対応）香芝市志都美小より矢田山で10月14日実施の要請あり

##### ・設立20周年の記念誌発行の検討



自然観察



メダカ池で



ガリガリトンボづくり



歩き出しそう！

#### 8月23日（火） 森林環境教育 下打合せ 矢田山遊びの森

香芝市志都美小学校4年生の森林環境教育が、当地で10月14日（金）開講予定にて、その下打合せに担当の先生2名が当地にこられ、理事長以下3名が対応。

作業体験、自然観察、クラフト等に関し打合せ、現場を下見。最終プログラムは後刻決定。懸案は交通アクセス、大型バスがR308乗り入れ困難で、学校側で要再検討。本件は、県森林環境税の対象事業。

#### 8月27日（土） 定例活動 矢田山遊びの森

この日は曇り空にて、暑さは多少まししながら、結構蒸し暑い中14名が参加。朝会で今後の環境出前講座予定の説明とクラフト指導としての参加者を募った。午前中は野鳥の森植栽地での下草刈り。通路を塞ぐほどに生い茂る雑草やツルを下刈器と大鎌で刈り取った。木々には秋の実りの兆しが見られるものの、昨年豊作であった柿は期待出来ぬ模様。

午後、子ども交流館周辺の生垣の笹や草取りをし、少し早目に終了。ナラ枯れの進行甚だしく、特に炭窯や料理体験館を被っている大木の様子が非常に懸念される。



野鳥の森整備作業



生垣の整備

#### 9月1日（木） 環境出前講座 鳥見バンビーホーム

同ホームの要請で、当クラブより指導員として7名が出向き開講。児童47名（当初の申込60強）と先生

7名（内2名アルバイト）が参加。まず、理事長よりクラブの活動内容並びにスタッフの紹介後、森林環境教育として森林や木の役割や、人との関わり等を、児童への質問を交えながら説明。ついで、木工クラフト指導として、①ガリガリトンボづくり、②モックン、エンピツくんづくり。学年別に8班に分かれ、それぞれにクラブ員と先生方がつき、かなりきめの細かい指導が出来た。ただ、ガリガリトンボづくりは出来不出来がかなりあり、皆が揃って出来上がるまでにはかなりの時間を要した。



クラフト説明



作成風景



### 9月11日（土） 定例活動 矢田山遊びの森

本日は、参加者17名が二手に分かれての作業。

1) 「緑の募金」公募事業としての助成を受けて、来春クラブ設立20周年を記念しての"永遠の森"づくり植樹祭むけての第一回準備作業として、頂上展望台広場・法面・遊歩道の草刈りと、以前の作業で高木の伐倒しておいた木々の処理を行った。この日は結構ハイカーやジョガーでの人通りが多く、見張りを立てての安全作業を心掛けた。

2) みんなの森整備作業、手前の"野鳥の森"から一番奥の"体験の森"に至る遊歩道の草刈りを実施。終了後の定例理事会報告。

- ・ 県安全研修の案内に対し、河野さん受講予定
- ・ 損保ジャパンより、基金申請の連絡を受け、例年通り申請予定
- ・ 県景観係より、植樹に関する指導役の紹介があり、次回定例活動時でも面談予定
- ・ 20周年記念事業の検討

植樹祭に向けての準備手順

記念誌発行の決定と内容（会員の声欄を設け、皆に寄稿を呼び掛け）

- ・ 環境出前講座（柳生公民館）と森林環境教育（志都美小）の実施要領—人材バンクの活用



— 作業風景 —

### 9月17日（土） 環境出前講座 柳生公民館

同館が児童向けに、年7回ほど実施されている"興味津々クラブ"での講座として要請を受け"森の恵みを楽しむクラフト"指導に6名が出向いた。当初の予定より参加者が減り、11名と職員3名の参加。スタッフ並びにクラブ活動紹介の後、森林の役割を中心に環境に関する話を質問も交えて行った。次いでクラフト指導。最初にガリガリトンボづくり、割箸に三角ヤスリで等間隔に切込を入れ、先に紙の羽根をピン止め

し、片方の箸でこすると羽根が廻りだすのだが、中々上手くいかず手直しをして、最後は全員成功。総じて切込みを丁寧に深く入れた方がよさそう。次は、持込んだ見本を参考に、竹の大小の輪切り、木の実、動眼等を組合せ自由に作品作り。中には肉球（猫の足裏）やライオンの頭等ユニークなものあり、中々の出来栄え。全ての作品は、11月開催の文化祭で展示予定の由。



ガリガリトンボづくり



人形



作品を手に

### 9月24日(土) 定例活動 矢田山遊びの森

各地で孫の運動会と重なったためか、参加者14名と少な目。来月当地で行われる予定の香芝市志都美小学校環境森林教育に備え、作業地であるR308沿いの竹林並びに遊歩道での草刈り、枯損木処理を全員で実施。午後はこのアクセス整備と機器の整備の二手に分かれ作業を行った。先の理事会で、来春設立20周年記念植樹祭に合わせ、記念誌の発刊を決定。ついでに、それに会員の声欄を設けることとなり、皆からの寄稿を呼びかけた。題材並びに字数は自由。出来れば当クラブ宛てのメールでの提出をお願いします。尚入会年を合わせ記入下さい。〆切は年内。



作業風景



下刈り器の整備

### 9月28日(水) イベント準備 奈良阪

奈良市地球温暖化対策地域協議会との共催で、10月1日に開催予定の、環境体験講座の準備のため、6名で現地の草刈りと枯損木の処理等の整備を実施。午後は、矢田山に戻り、イベントのための用具の準備並びにバームクーヘンづくりのための太い竹の節抜き、節取りやクリ拾いのための竹串づくりを行った。

＝原稿募集中＝

設立20周年記念誌 “会員の声” 欄

題材・字数問いません

年内までに提出を

名前と入会年を併記下さい

提出は出来ればメールで [gvnc@nifty.com](mailto:gvnc@nifty.com) へ